

「土地改良事業計画指針（農村環境整備）」の一部改正に伴う「日本農業集落排水協会仕様－OD<sub>96</sub>型設計指針」の新旧対照表

初出項	新	旧	関連項目																				
P5	<p>表-4-2 計画汚濁負荷量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設計諸元 (g/人・日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BOD (生物化学的酸素要求量)</td> <td><u>54</u></td> </tr> <tr> <td>SS (浮遊物質量)</td> <td><u>54</u></td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計諸元 (g/人・日)	BOD (生物化学的酸素要求量)	<u>54</u>	SS (浮遊物質量)	<u>54</u>	<p>表-4-2 計画汚濁負荷量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">設計諸元 (g/人・日)</th> <th colspan="2">備考(内訳)</th> </tr> <tr> <th>尿管排水 (g/人・日)</th> <th>生活雑排水 (g/人・日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BOD (生物化学的酸素要求量)</td> <td><u>60</u></td> <td>18</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>SS (浮遊物質量)</td> <td><u>60</u></td> <td>20</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計諸元 (g/人・日)	備考(内訳)		尿管排水 (g/人・日)	生活雑排水 (g/人・日)	BOD (生物化学的酸素要求量)	<u>60</u>	18	42	SS (浮遊物質量)	<u>60</u>	20	40	<p>(P68)表-9.1-1 汚泥濃縮槽に係る有効容量の算定式</p> <p>(P68)表-9.1-2 汚泥濃縮槽に係る計画余剰汚泥処理容量の算定式</p> <p>(P75)表-9.2-1 汚泥濃縮機本体に係る汚泥濃縮処理時間の算定式</p> <p>(P76)表-9.2-2 汚泥受槽に係る有効容量の算定式</p> <p>(P81)表-9.3-1 汚泥貯留槽に係る有効容量の算定式</p>
項目	設計諸元 (g/人・日)																						
BOD (生物化学的酸素要求量)	<u>54</u>																						
SS (浮遊物質量)	<u>54</u>																						
項目	設計諸元 (g/人・日)	備考(内訳)																					
		尿管排水 (g/人・日)	生活雑排水 (g/人・日)																				
BOD (生物化学的酸素要求量)	<u>60</u>	18	42																				
SS (浮遊物質量)	<u>60</u>	20	40																				
P5	<p>表-4-3 計画流入水質</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設計諸元 (mg/L)</th> <th>備考(算式)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BOD (生物化学的酸素要求量)</td> <td>200</td> <td>54g/人・日 ÷ <u>270</u>L/人・日 × 1,000</td> </tr> <tr> <td>SS (浮遊物質量)</td> <td>200</td> <td>54g/人・日 ÷ <u>270</u>L/人・日 × 1,000</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計諸元 (mg/L)	備考(算式)	BOD (生物化学的酸素要求量)	200	54g/人・日 ÷ <u>270</u> L/人・日 × 1,000	SS (浮遊物質量)	200	54g/人・日 ÷ <u>270</u> L/人・日 × 1,000	<p>表-4-3 計画流入水質</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設計諸元 (mg/L)</th> <th>備考(算式)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BOD (生物化学的酸素要求量)</td> <td>200</td> <td>60g/人・日 ÷ <u>300</u>L/人・日 × 1,000</td> </tr> <tr> <td>SS (浮遊物質量)</td> <td>200</td> <td>60g/人・日 ÷ <u>300</u>L/人・日 × 1,000</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設計諸元 (mg/L)	備考(算式)	BOD (生物化学的酸素要求量)	200	60g/人・日 ÷ <u>300</u> L/人・日 × 1,000	SS (浮遊物質量)	200	60g/人・日 ÷ <u>300</u> L/人・日 × 1,000			
項目	設計諸元 (mg/L)	備考(算式)																					
BOD (生物化学的酸素要求量)	200	54g/人・日 ÷ <u>270</u> L/人・日 × 1,000																					
SS (浮遊物質量)	200	54g/人・日 ÷ <u>270</u> L/人・日 × 1,000																					
項目	設計諸元 (mg/L)	備考(算式)																					
BOD (生物化学的酸素要求量)	200	60g/人・日 ÷ <u>300</u> L/人・日 × 1,000																					
SS (浮遊物質量)	200	60g/人・日 ÷ <u>300</u> L/人・日 × 1,000																					
P39 ~40	<p>(2) オキシデーションディッチ槽の有効容量は、原則として BOD 負荷量 <u>54</u>g/人・日である流量調整設備からの流入汚水について処理対象人口が 500 人までの BOD 容積負荷(BOD 計画負荷量/槽有効容量)を 0.2kg/m<sup>3</sup>・日とするとともに、500 人を越える部分の BOD 容積負荷を 0.3kg/m<sup>3</sup>・日以下にすることができるような容量を確保しなければならない。ただし、槽の有効容量については、処理対象人口規模に応じて告示構造 6-4 に準ずる式に基づき算定するものとする。</p>	<p>(2) オキシデーションディッチ槽の有効容量は、原則として BOD 負荷量 <u>60</u>g/人・日である流量調整設備からの流入汚水について処理対象人口が 500 人までの BOD 容積負荷(BOD 計画負荷量/槽有効容量)を 0.2kg/m<sup>3</sup>・日とするとともに、500 人を越える部分の BOD 容積負荷を 0.3kg/m<sup>3</sup>・日以下にすることができるような容量を確保しなければならない。ただし、槽の有効容量については、処理対象人口規模に応じて告示構造 6-4 に準ずる式に基づき算定するものとする。</p>	<p>(P41)表-8.1-1 オキシデーションディッチ槽に係る有効容量の算定式</p>																				
P68	<p>表-9.1-1 汚泥濃縮貯留槽に係る有効容量の算定式</p> <p>α：設計汚泥転換率（ただし、日本農業集落排水協会仕様－OD<sub>96</sub>型を活用した汚水処理施設にあっては、除去 BOD 量の <u>60</u>%を標準とする。）</p>	<p>表-9.1-1 汚泥濃縮貯留槽に係る有効容量の算定式</p> <p>α：設計汚泥転換率（ただし、日本農業集落排水協会仕様－OD<sub>96</sub>型を活用した汚水処理施設にあっては、除去 BOD 量の <u>40</u>%を標準とする。）</p>	<p>(P68)表-9.1-2 汚泥濃縮槽に係る計画余剰汚泥処理容量の算定式</p> <p>(P75)表-9.2-1 汚泥濃縮機本体に係る汚泥濃縮処理時間の算定式</p> <p>(P76)表-9.2-2 汚泥受槽に係る有効容量の算定式</p> <p>(P81)表-9.3-1 汚泥貯留槽に係る有効容量の算定式</p>																				

